

❁ 新しい1年が始まった

焦らず着実に前進しよう

平成30年度が始まりました。入学したばかりの1年生は、きっと緊張感と期待感でいっぱいのことでしょう。焦る必要はまったくありませんから、まずは、橋高校の生活と学習に慣れていくことが大事です。

さて、2、3年生はどういう心境でしょうか？これまでの高校生活の中で、自信を無くしたり、不安や焦りを感じたりしている人もいることでしょう。残り時間はたくさんありますから、まだまだ大丈夫です。ここで、気持ちをリセットして、この4月からやり直しましょう。

特集 2018年入試の結果

1 センター試験の結果

◆ 全国平均点の状況

「英リスニング」が大きく難化 「国語」も2年連続の低い平均点 化学は易化



5教科総合の平均点は 文系・理系ともに昨年とほぼ同様

今年度のセンター試験は、国語の平均点が前年度同様の低さであることと、リスニングの難化による平均点が大幅に低下したことが特徴でした。しかし、数学、英語筆記の難易度の変動がなかったことや、化学、地理B、倫理政経などの平均点が上昇したことなどもあり、5教科総合（900点満点）の平均点は、文・理系ともに昨年度とほぼ同じで、文系では554点（前年比-2点）、理系では564点（前年比+2点）と、過去5年では比較的高めの年となりました。

◆ 本校の平均点の状況 本校としては厳しい結果となった

5教科総合の全国平均点が昨年度とほぼ変わらなかったにもかかわらず、本校の平均点は、国語、リスニングの影響を大きく受けたこともあって、昨年度より低下してしまいました。得点率60%以上の人数も減少して、当初予定していた結果を出すことができなかつた人が多数出ました。これにより、国公立大への進学を希望する人数の多い本校としては、かなり苦しい展開となってしまいました。

2 国公立大入試の結果

(1) 「二次逆転」大成功！ 合格者数は過去10年で最多に

一次試験であるセンター試験では大変厳しい結果でしたが、本校生は二次試験では大健闘しました。結果として、国公立大学の合格者数は、前年より15名増え160名となりました。これは、過去10

年の中で最多となる素晴らしい結果です。

大学別では、福島大、山形大、県立医大看護をはじめとする東北地区の大学に加え、新潟大、千葉大、埼玉大、高崎経済大など他地区の大学にも多数の合格者を出すことができました。

【試験日程別合格者数内訳】 ()は昨年度

- 推薦・AO入試 21名 (12名)
- 前期・独自日程試験 114名 (109名)
- 中・後期日程試験 25名 (24名)

合計 **160名** (145名)



◆ 「二次逆転」に成功した主な要因

①分析データを基にして担任とよく話し合い、適切な「二次出願」ができた

- ・・・本人の希望に加え、センター試験後の合否判定結果とこれまでの記述模試での成績等を総合的に判断して、合格可能性が高く、各自の実力に見合った適切な二次出願ができた。それを可能にしたのは、担任と信頼関係を築き、事前によく話し合いがなされていたことが大きい。

②さまざまな入試方式を有効に活用した

- ・・・国公立大入試にもさまざまな方式がある。それらのしくみを理解して、計画的に活用することで、受験のチャンスを増やすことができた。

○「公募推薦・AO入試」に積極的に挑戦した

特に、今回は「公募推薦・AO入試」を積極的に利用し、例年以上の合格者数（21名）を出すことができた。特に、看護など医療系の合格者が多かった。東北大のAOⅢ期入試（センター試験利用型）でも医学部保健学科（看護）で1名が合格した。

***重要！** 本校で推薦を受けるための出欠条件
欠席・遅刻・早退 3年間で各 15 回未満

○「独自日程」や「中期日程」を活用し受験機会を増やした

新潟県立大や高崎経済大学等、特定の公立大学しかこの方式は採用されていないが、今回はこの方式で多くの人合格した。

例えば、新潟県立大の場合、独自日程としてA、B、C日程の3回の受験がある。前期日程では別の国公立大との併願受験できるので、複数の合格を得ることも可能である。

③卒業式後の「後期・中期日程」まで、あきらめないでやり通した者が多かった

- ・・・3月の卒業式後に実施される後期日程、中期日程試験まであきらめることなく、最後まで受験勉強を続けた人が多かった。そのため、後期・中期日程でも25名が合格した。

(2) 「難関大入試」は苦戦、合格者数減少

東北大は3名(工1 看護1 文1)に留まる

全体の合格者数が増加したものの、東北大や福島県立医科大医学部等、合格が難しい国公立大に関しては、厳しい結果となった。やはり、センター試験の得点率80%以上に加え、理系なら数英理(2科目)、文系なら国英数(+社)の筆記試験に対応できる学力が必要で、それが不足していたと言えます。

大学名	学部名	合格者数						
		H30			H29	H28	H27	H26
		推薦・AO	前期/独	中・後期	計	計	計	計
北見工業大						1		
北海道大						1		1
北海道教育大							1	1
弘前大			1	1	2		1	
岩手大		1	1		2	2	2	4
東北大	文		1		1	3	5	1
	経済					1		
	理						1	2
	工		1		1	2		
	医農	1			1	1		1
宮城教育大			3		3	2	3	1
秋田大			1	1	2	2		1
山形大		3	14	1	18	15	9	11
福島大	人文社会	3	40	7	50	32	31	40
	理工		7	1	8	11	12	11
茨城大		1	1	2	4	6	12	8
筑波大	人文文化	1	1		2	1	1	1
宇都宮大	教育	1			1	5	2	7
群馬大	工							1
埼玉大	経済		7		7	7	4	9
千葉大	文		6		6	6	5	2
東京海洋大	教育					1	1	
お茶の水女子大	文						1	
電気通信大	情報理工		1		1	1		
東京外国語大								1
東京農工大								1
東京学芸大	教育	1			1		1	
一橋大	経済						1	
横浜国立大	理工							1
上越教育大						1		1
新潟大	人文	1	6	1	8	5	3	7
富山大						1	1	1
金沢大	人間社会		1		1	1		1
福井大				1	1			
信州大	人文						1	
名古屋大								1
静岡大	工					2		
奈良教育大							1	
奈良女子大						1		
九州大						1		
釧路公立大								2
青森公立大								1
岩手県立大	総合政策		1		1	2	1	2
宮城大	事業構想	3			3	2	1	5
秋田県立大	システム		2	1	3	1		1
秋田公立美大								1
県立米沢栄養大			1		1			2
山形保健医療大	保健医療							1
会津大	コン理工	1	3		4	2	4	3
県立医大	医					1		
	看護	2	2	1	5	5	7	10
茨城県立医療大	保健医療						1	
前橋工科大						1		
群馬県立女子大	保健医療		2	1	3		2	1
高崎経大	地域政策		1	4	5	8	1	3
埼玉県立大	保健医療		2		2	2	4	3
千葉保健医療大								1
首都大東京		1			1	1	3	1
神奈川保健福祉大						1		
横浜市立大	国際総合						1	3
新潟県立看護大			1		1			
新潟県立大	国際地域		3		3	5		1
石川県立大	国際地域						1	
長岡造形大						1		1
都留文科大		1	1	2	4		1	1
長野大			1	1	2			
山梨県立大	国際政策					2		1
愛知県立大	外国語		1		1			1
京都府立大	外国語						1	
兵庫県立大						1		
名桜大			1		1			1
計		21	114	25	160	145	126	139

3 私立大入試の結果

私立大学の合格者数はのべ345名で、主な大学は以下の通りです。近年、経済的な問題から、全国的に私立大の受験数を減らす傾向が見られ、本校でも同様に受験先を絞る人が増加しています。また、**近年の「合格者数の厳格化」の影響**で、以前より合格者数を抑えている大学が増えています。そのため、本校でも私立大の合格者数は減少傾向にあります。その中でも、東北学院大、東北福祉大など仙台市にある伝統校が人気で、こちらの合格者は増加しています。また、私立専願者だけでなく、国公立大志望者の併願先の選択肢としても重要な大学となっていて、**まず仙台の私立大の合格を確保しておいて、国公立大入試に臨もうという傾向が強くなっています。**また、仙台市の大学に進学した人の中には、実家から新幹線で通学する人が多く見られるのも本校生の特徴です。

【主な合格大学】

早稲田大1名 明治大2名 青山学院大1名 中央大4名 法政大4名 東京女子大3名
 東京理科大1名 日本大19名 東洋大5名 駒澤大1名 専修大3名 文教大12名
 北里大3名 東北医薬大(薬) 3名 東北学院大85名(昨年より23名増) 東北福祉大29名 など

4 全国の詳細な入試データについて

2018年度入試の全国的な傾向

- **文系:「経済経営系」、「国際系」、「法学系」の人気回復傾向の継続**
- **理系:工学系 特に「情報工学系」、「電気・電子系」の人気上昇**

今後、6月までに、各予備校などから2018年度入試の分析結果が公表されます。全国の受験生がどのような出願を行ったのか、各大学に合格するには、センター試験で何%取れば良かったのか、二次試験に必要な学力はどのくらいだったのかなど、全国の受験生の合否結果を基にした2018入試の実態に関する詳細な分析結果が明らかになります。学校で収集した情報は、整理して生徒のみならずにも伝え、今後の指導に生かしていきます。今後の情報に注意してください。

なお、**6月20日(水)に行われる3学年の保護者会**では、2018年度入試の分析データを基にして、今後の本校の進路指導等に関する説明を行う予定です。

5 今後の進路関係行事の予定(4~6月)

- ・4/28(土) PTA総会 クラス懇談等
- ・5月上旬 第1回進路希望調査
- ・5/25(金)・26(土) 3学年6月進研マーク模試
- ・5/30(水) 1学年保護者会(2年次以降の文理選択・科目選択について)
- ・6/ 6(水) 2学年保護者会(進路講演会、3年次のコース選択・科目選択について)
- ・6/20(水) 3学年保護者会(進路講演会、入試のしくみ・今後の進路指導について)
- ・6/12(火)~15(金) 前期中間考査



6 卒業生からの「赤本」寄贈 **過去最多の97冊**

今年も、卒業生から不要となった「赤本」の寄贈が多数ありました。その数、何と!97冊。歴代最多となります。中には合格した大学の物も多数あり、表紙には自筆で「合格者より」と書かれています。これは、後輩たちに頑張ってもらいたいという力強いエールです。大変ありがたいことです。**今度は、新3年生が頑張る番。来年3月には、「合格者より」と書かれた多数の赤本の寄贈を期待します。**